

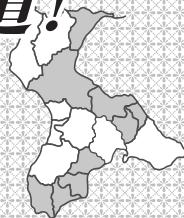
ささえあい 安心

明るい 北海道!

発 行：ささだ浩事務所

〒049-3107 二海郡八雲町本町84  
TEL 0137-62-3600/FAX 0137-62-3223E-mail : info@sasada-hiroshi.com  
Web : http://sasada-hiroshi.com

北海道議会議員

ささだ 浩  
道政だより 第5号

道の新年度予算案は一般会計2兆7410億円、特別会計5357億円の合計3兆2767億円。一般会計では、23年度の選挙後補正予算に比べ2%減で、当初予算ベースで5年連続の減少となりました。地方交付税が回復したもの、道税は法人2税を中心に伸び悩み、24年度末の道債残高見込みは5兆8400億円に膨らみ、財政状況は、さらに厳しさを加えています。

第一回定例道議会が2月23日に開会し、24年度道予算、北海道がん対策推進条例、北海道水資源の保全に関する条例、「大間原発に関する意見書」などを可決し、3月23日に閉会しました。今定例会は新年度予算審議、防災対策、エネルギー対策、道財政問題、HACなどが審議の中心となりました。

### 道財政さらに悪化

第一回定例道議会が2月23日に開会し、24年度道予算、北海道がん対策推進条例、北海道水資源の保全に関する条例、「大間原発に関する意見書」などを可決し、3月23日に閉会しました。今定例会は新年度予算審議、防災対策、エネルギー対策、道財政問題、HACなどが審議の中心となりました。



### 第一回定例道議会報告

東日本大震災から1年が経過しましたが、防災対策や原発を含むエネルギー施策で、国の指示待ちに終始し、消極的な対応しか取られていません。空知地方を中心とする豪雪対策の遅れに見られたように、地域の状況を的確に把握し、速やかに対応する道の機能が衰えていることが反映されています。また、人口減少をはじめとする地域の衰退が急激に進んでいる現状についても、今定例会の質疑を通じては、知事から具体的な対応が示されることはませんでした。

また、道が経営の危機を認識しながら、経営破たん寸前に追い込まれている北海道エアシステム（HAC）についても、道から主体的な判断が示されることではなく、講じられたのは道の貸付金4000万円の償還猶予だけで、対応をさらに先送りする無責任と言うしかない状況となっています。

は5兆8400億円に膨らみ、財政状況は、さらに厳しさを加えています。

保健福祉部では、道立病院の収入確保対策について質問しました。道立病院の取組は全道の市町村立の公立病院にも得るもののが大きいことから、査定減対策等について質問させていただきました。総合政策部では、北海道新幹線について、函館開業に当たっての並行在来線対策及び、開業効果に対する道の取組について、2日目の総務部では、大規模災害時に効果がある「道と民間企業との災害対策のための協定について」質問させていただきました。

### 答弁（概要）は以下の通りです

予算特別委員会質疑内容については、ホームページにて掲載中です。



### 予算特別委員会報告

3月15日、16日の2日にわたり予算特別委員会が開催され、私も第一分科会で保健福祉部、総合政

○道立病院について

【質問】道立病院の財政状況について

○北海道新幹線について

【質問】並行在来線対策について

現在、42件、延べ70の企業や団体と協定を締結している。主なものは、報道要請、食糧や飲料、生活物資の供給、医療、救助・救援等の支援に関する協定である。

平成24年度国の基準による繰入は、約62億1000万円、道の独自基準による繰入は、約6億7000万円で、合計約68億8000万円。また、病床利用率の達成見込みは、道立病院全体では、61・8%の目標に対し、56・3%の見込、達成率は約91%と見込まれる。目標達成に向け引き続き、医師の確保など診療体制の充実、患者サービスや療養環境の向上により患者確保に努める、新たにコンサルタントから、経営改善の具体的で継続的な指導・助言を受け、病床利用率の目標達成に取り組む。

地域交通課内に担当セクションを設立し、27年度新函館開業と同時に、鉄道運行を開始する。新年度からは、第三セクターは、平成26年度に設置し、専門的なノウハウを有するJR北海道と連携しながら、鉄道運行に関する基本方針などを検討する。

【質問】東日本大震災以降の協定締結について

【危機対策課長答弁】

東日本大震災以降、避難所等の寝具、供給、災害廃棄物処理、石油類燃料の供給、被災者の民間賃貸住宅の入居斡旋、物資の緊急・救援陸上輸送、の5件の協定を締結。今後、道内離島災害対策や、海上運輸団体との協定や、食糧供給に関する食料品製造企業との協定など、年度内に4件10企業・団体と締結予定である。

【質問】診療報酬の査定減について

【道立病院室参事答弁】

平成22年度の診療報酬査定減の状況は、江差病院の査定減が、855件で約300万円、羽幌病院では、587件で約110万円。また、防止対策は、請求事務の知識向上、担当医師との個別協議、診療委員会での審議により診療報酬の査定減等の防止に努めている。

【質問】新函館開業に向けた取組について

【地域交通課長答弁】

広域観光や地域産業の振興など沿線地域の取組が重要、現在推進している。また、今年度は、関係市町村と共に「新幹線時代に向けた『道南の魅力』新発見・再発見フェア」や「青函圏交流・連携フォーラム」を開催し、道南地域の魅力発信や開業に向けた気運の醸成に取り組む。

【質問】開業効果の波及・拡大に向けた取組について

【地域交通課長答弁】

札幌延伸で、本道経済の活性化や道民生活の向上など様々な効果が見込まれる、地域のバランスある発展のため、航空路線や鉄道・バスのネットワーク、高速道路網との結びつきを強めることが重要。また、箇田委員からご指摘の情報発信も大変重要、来年度、道内6つの連携地域におけるシンポジウムの開催などで、札幌延伸効果の全道への波及に向け、鋭意取り組む。

【質問】増収対策について(単価設定)

診療単価の設定は、自動車損害賠償保険法規定は他の自治体病院や公的病院と比較しても、高水準で設定、健康診断・人間ドック等は、他の自治体病院や公的病院に比べ、高水準とはしていないことから、その優位性を生かして健康診断や人間ドック等の拡大に努め、一層の収益確保に取り組む。

○道と民間企業との災害対策のための協定について

【質問】協定締結状況について

【危機対策課長答弁】

新たに必要な分野は、被災者の捜索救助や道路確保のための重機による瓦礫撤去に関する分野、避難所や病院等のトイレや電話設備、さらには非常電源などの施設設備、物資の収集・保管・配達を一括して行うための分野などが考えられる。

【質問】協定を有効に機能させるための取組について

【危機管理監答弁】

食糧や飲料、医薬品などは、何よりも迅速かつ、確実に行わなければならぬため、災害時の食糧供給等の対応能力や、道の的確な要請方法などを、日ごろから道と協定先とが相互に確認しておくことが必要、災害の発生時期や地域を想定し、道や市町村が実施する防災訓練に協定先を加え、災害時に協定が効に機能するよう努める。

大間原発中止にむけて

3月11日に「さよなら原発1000万人アクション・やめるべ大間原発」3.11函館集会が開催されました。東日本大震災から1年を迎えるも福島第一原発では大量の放射能が漏れ続け、汚染はさらに拡大しております。子どもたちの未来のためにも、大震災による重大事故を教訓に原発建設を中止することが現在を生きる我々の使命であると思います。「あの時なぜ止められなかった」と後悔することのないよう大間原発建設再開に対し断固反対していかなければなりません。3月12日には、高橋知事に対し、「大間原発建設永久凍結要望」を逢坂誠二民主党北海道第8総支部代表と提出してきましたが、知事からは原発凍結に対する明確な考えがないためか、終始要望に対して「参考とさせて頂く」との回答でした。道民の安心・安全を守る立場で北海道知事としての考えを明確に示すべきです。



# 新春の集いを開催しました！

2月11日(土)八雲町のはぴあ八雲で「おおさか誠二・ささだ浩 新春の集い」を開催させていただきました。

あいにくの悪天候の中、渡島管内各地から約500人の方々にご来場いただきました。お忙しいなかにもかかわらず、長万部町白井町長、八雲町川代町長はじめ管内町長、副町長、議會議員の皆様、農・林・漁業、商工業関係者の皆様、労働組合関係者、福祉関係者、後援会、支援者の皆様本当にありがとうございました。また、何日も前から、オードブルや蕎麦の準備をしていただいた、ボランティアの皆様や蕎麦打ち同好会の皆様、会券の販売にご協力いただいた、後援会役員の皆様など様々な方々に大変お世話になっての開催でした。国政も道政も町政も連携が必要です。今年は新幹線札幌延伸の認可・着工見込み、フード・コンプレックス国際戦略総合特区も決定し、道南に活力を与える可能性に満ちた一年になる、地域が連携して道南発展のため取り組んでいくことの必要性などお話しさせていただきました。



花束を頂いたお二人と  
記念撮影



お手伝い頂いた蕎友会（そばうち同好会）、会場準備や料理を作って  
頂いたボランティアの皆さんありがとうございました。



## 道南に活力を与える可能性に満ちた一年に



3月24日（土）函館・江差自動車道北斗富川IC～北斗茂辺地IC間の5.4Kmが午後3時に開通しました。

昨年11月26日には道央自動車道、森・落部間が開通するなど、道南における高速交通体系整備が進んでいます。3月26日には、北海道新幹線・新茂辺地トンネルが貫通し、北海道側トンネルは全て貫通したことになり、2015年開業に向けて着々と工事が進んでいます。高速自動車道や北海道新幹線新函館開業は単に食などの流通、救急医療、防災代替といった効果だけではなく道南地域の均衡発展に結びつけなくてはならないと思っています。

現在、北斗市が市内各地の桜の名所を整備する「桜回廊事業」を、渡島西部4町と檜山南部5町では、広域観光の取組を推進しています。また、道も渡島総合振興局と檜山振興局が協力し、「新幹線時代に向けた『道南の魅力』新発見・再発見フェア」や「青函圏交流・連携フォーラム」を開催するなど、地域と協力した取組に期待しています。

## ささだブログから

ささだ浩のウェブサイトに掲載されたブログから掲載しています。  
詳細はこちらにて→ <http://sasada-hiroshi.com>



2012は八雲神社歳旦祭からスタート



1/7 七飯消防出初式



2/19 おおさか新春の集い(松前町)



2/23 議場コンサート(江差追分)

## これまでの主な活動記録

1月1日	八雲神社歳旦祭・山越諏訪神社	2月7日	水産林務委員会
1月2日	松前茂草町内会新年会	2月8日	新幹線・総合交通体系対策特別委員会
1月3日	八雲町成人式(八雲地域・熊石地域)	2月10日	道南地区農民連盟第39回定期総会
1月5日	2012年連合北海道新年交礼会 道央札幌圏函館会	2月11日	逢坂・笠田新春の集い(八雲)
1月6日	八雲町消防出初式、連合渡島地域協議会・ 函館地区連合会合同新年交礼会	2月12日	逢坂新春の集い(函館市)
1月7日	南渡島消防事務組合七飯消防出初式	2月13日	北海道農民連盟定期総会
1月8日	八雲身体障害者福祉協会新年会 逢坂新春の集い(長万部町)	2月16日	第1回定例会ヒヤリング
1月9日	松前管内調査	2月18日	逢坂新春の集い(福島町)
1月10日	日韓議連学習会、水産林務委員会 林業人新年交礼会	2月19日	茂草漁港視察、逢坂新春の集い(松前町) 小西ゆかり選手ロンドン五輪出場激励会
1月11日	新幹線・総合交通体系対策特別委員会 第1回定例会ヒヤリング	2月22日	ガン対策PT、前日委員会
1月12日	八雲商工会新年交礼会	2月23日	第1回定例道議会開会(3月23日まで)
1月13日	八雲・長万部地区連合新年交礼会	3月7日	大間原発学習会、国際交流の集い
1月15日	逢坂新春の集い(七飯町)	3月10日	八雲タウンミーティング
1月21日	民主党道南総支部常任幹事会	3月11日	さようなら原発1000万人アクション 函館集会
1月25日	民主党北海道会計監査	3月12日	大間原発建設反対知事要請、 農政問題懇話会
1月27日	知事への新年度予算要望	3月18日	民主党北海道第8支部・函館支部定期大会
1月28日	第22回民主党北海道定期大会	3月20日	原発・エネルギー政策を考えるセミナー
1月29日	逢坂新春の集い(知内・木古内町)	3月22日	原発PT、水産林務委員会
1月31日	熊石高校・八雲高校 校長意見交換	3月23日	新幹線・総合交通体系対策特別委員会
2月3日	落部八幡宮初午祭・当宮祈年祭	3月24日	第1回定例道議会閉会
2月4日	逢坂新春の集い(森町)	3月26日	函館・江差自動車道開通を祝う会
2月5日	八雲さむいべや祭り、 逢坂新春の集い(鹿部町)	3月31日	森タウンミーティング 北海道新幹線新茂辺地トンネル貫通式 木古内タウンミーティング

## 今後の予定

4月2日	日韓議連民団交流会
4月3日	水産林務委員会
4月4日	新幹線・総合交通体系対策特別委員会
4月5日～	管内自治体まわり
5月8日	水産林務委員会
5月9日	新幹線・総合交通体系対策特別委員会
6月5日	水産林務委員会
6月6日	新幹線・総合交通体系対策特別委員会

## 第1回定例道議会で採択された意見書

○は政審発議  
○は委員会発議

- 大間原発建設に関する意見書
- 原子力発電所の安全対策に関する意見書
- 東日本大震災に係る災害廃棄物の受け入れに関する意見書
- 緊急事態に関する意見書
- 北朝鮮による拉致問題の早期解決を求める意見書
- 豪雪災害に関する意見書
- 2次医療圏の設定に関する意見書
- 成人用肺炎球菌ワクチンの定期接種化に関する意見書
- 地籍調査の充実を求める意見書
- 登記の事務・権限等の地方への移譲に関する意見書
- 観光業における原子力損害の賠償に関する意見書